

平成26年度関東高等学校バドミントン大会  
兼 第60回記念関東高等学校バドミントン選手権大会  
実施要項

- 1 主催 関東高等学校体育連盟・関東バドミントン連盟・埼玉県教育委員会
- 2 主管 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部・埼玉県高等学校体育連盟・  
埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部・埼玉県バドミントン協会
- 3 後援 (公財)埼玉県体育協会・行田市教育委員会・本庄市・鴻巣市教育委員会  
埼玉新聞社・テレ玉
- 4 大会日程 平成26年 6月 6日(金)～平成26年 6月 8日(日)  
監督会議 平成26年 6月 6日(金) 13時30分から 行田市総合体育館  
開会式 平成26年 6月 6日(金) 15時00分から 行田市総合体育館  
競技 平成26年 6月 7日(土)～6月 8日(日) いずれも9時30分競技開始  
閉会式 平成26年 6月 8日(日) 競技終了後 鴻巣市立総合体育館
- 5 会場 本庄総合公園体育館(シルクドーム) 7日男子  
〒367-0031 埼玉県本庄市北堀433  
TEL: 0495-25-5677  
行田市総合体育館(行田グリーンアリーナ) 7日女子  
〒361-0061 埼玉県行田市和田1242  
TEL: 048-553-3377  
鴻巣市立総合体育館 8日男子・女子  
〒365-0028 埼玉県鴻巣市鴻巣864番地1  
TEL: 048-543-0101  
\*監督会議は、行田市総合体育館 会議室で行う。
- 6 種目 学校対抗(男・女)
- 7 競技規則 本大会実施要項及び平成26年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、  
同公認審判員規程による。
- 8 競技方法 1. トーナメント戦方式で行い、3位決定戦行わない。  
2. 試合順序は複1・単・複2で実施する。  
ただし、兼ねることは出来ない。  
3. 1対抗戦2マッチ先取とする。
- 9 使用用器具 現行の(公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び平成26年度第1種検定合格水  
鳥球を使用する。使用するシャトルは、下記銘柄とする。  
ヨネックス(トーナメント) ミズノ(スカイクロスEX) ウィルソン(ツアー100)  
ゴーセン(ネオフェザープラチナ) モア(ウルトラセレクト)
- 10 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍す  
る生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒を除く。  
(2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、バドミントン専門部に登録し、当該競  
技要項により参加資格を得たものに限る。  
(3) 年齢は平成7(1995)年4月2日以降に生まれたものとする。  
ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(4) 第60回記念大会のため、各都県の出場校数は男女各2校加えて下記の通りとする。

- 山梨県（男女各6校）神奈川県（男女各7校）群馬県（男女各6校）東京都（男女各7校）  
 栃木県（男女各6校）千葉県（男女各6校）茨城県（男女各6校）埼玉県（男女各9校）
- (5) (公財) 日本バドミントン協会に平成26年度登録完了済みの者。
- (6) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (8) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該都県の高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りではない。
- (9) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (10) 参加資格の特例
1. 上記10(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
  2. 上記10(3)ただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加資格を認める条件
    - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。  
また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ関東大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 11 参加制限
- (1) チーム編成は、1チーム監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5～7名（同一校選手）とする。又、選手5名を欠いた場合はチームとして認めない。男女同一校が出場する場合は、それぞれ監督をつけること。なお、マネージャーは、当該校の職員又は生徒とする。
  - (2) 外国人留学生の出場枠について
    - ア 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。
    - イ 在籍校が各都県高等学校体育連盟に加入していること。
    - ウ 年齢は平成7(1995)年4月2日以降に生まれた者とする。
    - エ 短期留学は除く。

オ 外国人留学生の参加について申込みは2名以内とし、対抗戦の出場は、その出場人数（1名又は2名）に関わらず、1試合とする。

- 12 引率・監督 (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。  
引率責任者は、選手の全ての行動に対し、責任を負うものとする。  
(2) 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。  
個人の場合は校長の認める学校の職員とする。  
(3) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。
- 13 表 彰 学校対抗1位～3位まで表彰する。
- 14 参加料 学校対抗1チーム 20,000円
- 15 申し込み (1) 参加校は参加申込書を、「埼玉県バドミントン協会―埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部」のホームページからダウンロードし、必要事項を入力したデータを下記メールアドレスへ 5月15日（木）迄にメール送信すること。  
また、プリントアウトした大会参加申込書（正1通・副1通）に押印して各都県委員長に提出すること。
- 『埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部 HP』  
<http://www.saibad.com/koukou/index.htm>  
『埼玉県高体連バドミントン専門部委員長 E-mail』  
Fujimatsu.tsuyoshi.02@spec.ed.jp
- (2) 各都県委員長は、平成26年 5月23日（金）【必着】までに、各都県毎に一括して申し込むこと。
- 『申し込み先』 〒339-0052 埼玉県さいたま市岩槻区太田1-4-1  
埼玉県立岩槻商業高等学校内 藤松 津吉 宛
- 『参加料振込先』 銀行名 埼玉りそな銀行 店名 妻沼支店  
口座番号：普通 4061872  
加入者名：埼玉県高体連バドミントン専門部大会実行委員会
1. 監督・コーチ・マネージャー・選手変更は、所定の用紙を使用し、平成26年6月6日（金）12時から13時までに「受付」に提出すること。ただし、選手の変更は病気、事故等によるものとする。
2. <個人情報の取り扱いに関して>  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて」を参照下さい。）
- 16 組合せ 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部が指名した競技役員長（レフェリー）の指示の下、本専門部役員との間で厳正に執り行う。
- 17 宿泊費 宿泊料金は、1泊3食11,880円を上限として、ランクが選択できる。  
宿泊費等『宿泊要項』を参照のこと。宿泊場所が決定次第各校に連絡する。
- 18 競技上の注意 (1) 試合は番号順に流し込みで行うが、連続する試合は時間を空けるので進行の指示に従うこと。試合進行状況によっては、試合開始時刻やコートの変更、コートを並行することもあ

ので、放送に従うこと。

- (2) オーダーの提出は試合開始前に放送で指示をします。集合の放送後、速やかにコートに集合すること。
- (3) 試合前の練習は、各試合ごとに両校同時に2分間とする。
- (4) 試合が連続する場合は、20分以上のインターバルを与える。
- (5) 写真の『フラッシュ撮影』は禁止する。
- (6) 今大会はゲーム中の給水を、条件付で認める。
  - ①容器は倒れてもこぼれない蓋付の容器を使用すること。
  - ②容器入れを設置（主審の横）してあるので、その中に入れること。
- (7) クーラーボックスのフロアー内持ち込みは禁止する。
- (8) 氷嚢の使用は、インターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れること。

19 審判上の注意

- (1) 各試合とも、準決勝以降はサービスジャッジをつける。その他の試合は原則としてサービスジャッジはつけない。
- (2) マッチ(試合)中、シャトルがインプレーでない時のみ、プレーヤーはコーチからアドバイスを受けることができる。
- (3) それぞれのゲーム間に120秒を超えないインターバルを、又、ゲーム中どちらかのサイドのスコアが最初に11点に達したとき60秒を超えないインターバルを認めるが、競技区域に入れる監督・コーチ等は同時に2名までとする。そして、主審の「20秒」のコールで競技区域内から離れること。
- (4) 審判の判定に『抗議』や『異議』を唱えることは一切認めません。その判定に従わない時はその試合を放棄したものとみなす。

20 参加上の注意

競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は保険証を持参すること。

21 備考

- (1) 練習会場は設けない。
- (2) 競技時の服装は、色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (3) 露出するインナーウェアについては、(公財)日本バドミントン協会審査合格品競技ウェアから審査合格品のみ認める。
- (4) 上衣の背面中央に必ず、高等学校名及び都県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。

【上段—学校名（やや大きく）、下段—都県名】

ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とする。  
(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色又は濃紺色とする)
- (5) 参加校は、6月6日(金)12時~13時まで会場内『受付』で受付をすること。  
その際、指定のシャトル1ダース(ケースに学校名を記入)を提出し、翌日のオーダー用紙・プログラム等を受け取る。
- (6) プログラムは、学校対抗各校4部を無料とする。
- (7) プログラムのミスプリントの訂正については、所定の用紙を『受付』に提出すること。
- (8) 飲食物・ゴミ等の後始末は、各校の責任で行うこと。
- (9) 履物は『屋内用』『屋外用』の区別をはっきりすること。
- (10) 会場内のロビー等での練習は禁止する。アリーナ内の施設・設備に損害を与えた場合には弁償してもらうこともある。
- (11) 開会式は次のとおりとする。
  - ①選手集合は 6月 6日(金)14時30分 行田市総合体育館(グリーンアリーナ)とする。【厳守】
  - ②部旗を持って参加できる。ただし、旗竿は各校で用意すること。
  - ③選手は試合用ユニホームを着用して集合すること。